

令和 7 年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務への参加者の
有無を確認する公募手続に係る参加意思確認書の提出を求める公告

次のとおり、参加意思確認書の提出を招請します。

令和 7 年 2 月 21 日

岡山県環境保健センター所長 妹尾 安裕

1 当該招請の趣旨

当センター内の施設である超微量化学物質分析施設空調換気設備（以下「本設備」という。）の保守管理業務については、常に適正な機能を発揮できるよう保守点検を行う必要があることから、ヤマト科学株式会社広島営業所（以下「ヤマト科学」という。）を契約の相手方とする契約手続を行う予定としているが、ヤマト科学以外の者で、下記の応募要件を満たし、本業務の実施を希望する者の有無を確認する目的で、参加意思確認書の提出を招請する公募を実施するものである。

公募の結果、4 の応募要件を満たすと認められる者がいない場合は、ヤマト科学との契約手続に移行する。

なお、4 の応募要件を満たすと認められる者がいる場合にあっては、ヤマト科学と当該応募者に対してプロポーザル方式による技術提案書の提出を要請する予定である。

2 業務の概要

- (1) 業務名 令和 7 年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務
- (2) 業務内容 対象機器の定期点検（2 回/年）、故障時の修理及びフィルター等の交換（詳細は別紙 1 「令和 7 年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務仕様書」のとおり）
- (3) 実施期間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
- (4) 契約締結日 令和 7 年 4 月 1 日

3 業務目的

保守点検管理作業と設備内のフィルター類、吸着剤等の消耗品の交換及び故障時の修理整備を委託することにより、本設備が常に適正な機能を発揮することを目的とする。

4 応募要件

- (1) 岡山県役務の提供の契約に係る入札参加資格者名簿（以下「入札参加資格者名簿」という。）に登録されている者であること。
- (2) 入札参加資格者名簿の業務種目の大分類が「7 機械設備等保守点検（情報・通信サービスを除く）」、小分類が「2 分析機器」であり、格付区分が「A 又は B」で

あること。

- (3) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 第 1 項の規定に該当する者でないこと。
- (4) 岡山県役務の提供の契約に係る入札参加資格審査要領（平成 19 年岡山県告示第 332 号）に基づく入札参加の停止の措置を受けている者でないこと。
- (5) 本県から役務の提供の契約に係る入札参加除外の措置を受けている者でないこと。
- (6) 岡山県建設工事等暴力団対策会議運営要領に基づく指名除外の措置を受けている者でないこと。
- (7) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づく更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく再生手続開始の申立てがなされている者（更生手続開始の決定又は再生手続開始の決定を受けている者を除く。）でないこと。
- (8) 過去 5 年以内にダイオキシン類等分析施設（ケミカルハザード施設レベル 3）に係る空調換気設備の保守点検実績があること。
- (9) 対象設備の性能が十分発揮できる保守点検の技術レベルを担保でき、設備の故障に際して、発注者が要請した日の翌日までに対応を開始し、早急に設備の機能を回復できること。

5 手続

(1) 担当部局

〒701-0298 岡山市南区内尾 739-1

岡山県環境保健センター 水質科

電話 086-298-2684 FAX 086-298-2088

(2) 公募説明書及び参加意思確認書の配布の期間及び場所

ア 配布期間：令和 7 年 2 月 21 日（金）～令和 7 年 3 月 11 日（火）
午前 9 時から午後 5 時まで（閉庁日を除く。）

イ 配布場所：（1）に同じ。

なお当センターホームページからダウンロードもできる。

[\(https://www.pref.okayama.jp/site/712/\)](https://www.pref.okayama.jp/site/712/)

(3) 参加意思確認書の提出の期間、場所及び方法等

ア 提出期間：令和 7 年 2 月 21 日（金）～令和 7 年 3 月 11 日（火）
午前 9 時から午後 5 時まで（閉庁日を除く。）

イ 提出場所：（1）に同じ。

ウ 提出方法：持参又は郵送（書留郵便その他これに準じる方法による提出に限る。）
（提出期間内に必着のこと。）

エ その他：関係書類を添えて参加意思確認書を提出すること。

6 審査方法

- (1) 参加意思確認書の提出があった応募者の応募要件を満たすか否かの判定並びに技術提案による委託先の決定は、当センターに設置している指名選定委員会に諮るものとする。
- (2) 審査は、提出書類及び添付資料により行うが、必要に応じて別途ヒアリングの実施や追加資料の提出を求める場合がある。

7 その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨は日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 応募に係る経費は全て応募者負担とする。
- (3) 応募者の名称、代表者、所在地等を公表することがある。
- (4) 提出書類について虚偽の記載があった場合は失格とする。
- (5) 提出書類は返却しない。
- (6) 提出書類等は情報公開の請求により開示することがある。
- (7) 当該応募者に対してプロポーザル方式による技術提案書の提出を要請する際の提出期間は令和7年3月19日(水)午後5時までとする。(提出場所及び提出方法は5(3)に同じ。)
- (8) 本契約の締結は本事業に係る予算が議会において議決されることを条件とする。
- (9) 契約締結予定者は、契約を締結しようとするときは、暴力団の排除に係る誓約書を提出しなければならない。なお、この誓約書を提出しないときは、契約締結を拒んだものとみなすので留意すること。
- (10) 詳細は、公募説明書による。

公募説明書

1 業務の概要

- (1) 業務名 令和7年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務
- (2) 業務内容 別紙1「令和7年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務仕様書」のとおり
- (3) 実施期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日
- (4) 契約締結日 令和7年4月1日

2 当該招請の趣旨

当センター内の施設である超微量化学物質分析施設空調換気設備（以下「本設備」という。）の保守管理業務については、常に適正な機能を発揮できるよう保守点検を行う必要があることから、ヤマト科学株式会社広島営業所（以下「ヤマト科学」という。）を契約の相手方とする契約手続を行う予定としているが、ヤマト科学以外の者で、下記の応募要件を満たし、本業務の実施を希望する者の有無を確認する目的で、参加意思確認書の提出を招請する公募を実施するものである。

公募の結果、4の応募要件を満たすと認められる者がいない場合は、ヤマト科学との契約手続に移行する。

なお、4の応募要件を満たすと認められる者がいる場合にあっては、ヤマト科学と当該応募者に対してプロポーザル方式による技術提案書の提出を要請する予定である。

3 業務目的

保守点検管理作業と設備内のフィルター類、吸着剤等の消耗品の交換及び故障時の修理整備を委託することにより、本設備が常に適正な機能を発揮できることを目的とする。

4 応募要件

- (1) 岡山県役務の提供の契約に係る入札参加資格者名簿（以下「入札参加資格者名簿」という。）に登録されている者であること。
- (2) 入札参加資格者名簿の業務種目の大分類が「7 機械設備等保守点検（情報・通信サービスを除く）」、小分類が「2 分析機器」であり、格付区分が「A又はB」であること。
- (3) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当する者でないこと。
- (4) 岡山県役務の提供の契約に係る入札参加資格審査要領（平成19年岡山県告示第332号）に基づく入札参加の停止の措置を受けている者でないこと。
- (5) 本県から役務の提供の契約に係る入札参加除外の措置を受けている者でないこと。
- (6) 岡山県建設工事等暴力団対策会議運営要領に基づく指名除外の措置を受けている者でないこと。
- (7) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなさ

れている者（更生手続開始の決定又は再生手続開始の決定を受けている者を除く。）でないこと。

- (8) 過去5年以内にダイオキシン類等分析施設（ケミカルハザード施設レベル3）に係る空調換気設備の保守点検実績があること。
- (9) 対象設備の性能が十分発揮できる保守点検の技術レベルを担保でき、設備の故障に際して、発注者が要請した日の翌日までに対応を開始し、早急に設備の機能を回復できること。

5 手続

(1) 担当部局

〒701-0298 岡山市南区内尾 739-1
岡山県環境保健センター 水質科
電話 086-298-2684 FAX 086-298-2088

(2) 参加意思確認書の配布の期間及び場所

ア 配布期間：令和7年2月21日(金)～令和7年3月11日(火)
午前9時から午後5時まで（閉庁日を除く。）

イ 配布場所：(1)に同じ。

なお、岡山県環境保健センターホームページからダウンロードもできる。
(<https://www.pref.okayama.jp/site/712/>)

(3) 参加意思確認書の提出の期間、場所及び方法等

ア 提出期間：令和7年2月21日(金)～令和7年3月11日(火)
午前9時から午後5時まで（閉庁日を除く。）

イ 提出場所：(1)に同じ。

ウ 提出方法：持参又は郵送（書留郵便その他これに準じる方法による提出に限る。）
（提出期間内に必着のこと。）

エ その他：関係書類を添えて参加意思確認書を提出すること。

6 審査方法

- (1) 参加意思確認書の提出があった応募者の応募要件を満たすか否かの判定並びに技術提案による委託先の決定は、当センターに設置している指名選定委員会に諮るものとする。
- (2) 審査は、提出書類及び添付資料により行うが、必要に応じて別途ヒアリングの実施や追加資料の提出を求める場合がある。

7 その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨は日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 応募に係る経費は全て応募者負担とする。
- (3) 応募者の名称、代表者、所在地等を公表することがある。
- (4) 提出書類について虚偽の記載があった場合は失格とする。
- (5) 提出書類は返却しない。

- (6) 提出書類等は情報公開の請求により開示することがある。
- (7) 当該応募者に対してプロポーザル方式による技術提案書の提出を要請する際の提出期間は令和7年3月19日(水)午後5時までとする。(提出場所及び提出方法は5(3)に同じ。)
- (8) 本契約の締結は本事業に係る予算が議会において議決されることを条件とする。
- (9) 契約締結予定者は、契約を締結しようとするときは、暴力団の排除に係る誓約書を提出しなければならない。なお、この誓約書を提出しないときは、契約締結を拒んだものとみなすので留意すること。

別紙 1

令和 7 年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務仕様書

1 目的

当センターの超微量化学物質分析施設に設置している 4 に掲げる設備の良好な稼働を長期にわたり維持するため、保守管理業務を実施する。

2 作業場所

岡山県環境保健センター 超微量化学物質分析施設

3 業務名

令和 7 年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務

4 対象設備

超微量化学物質分析施設空調換気設備

5 業務時間

業務は、原則として、委託者の就労日の 8 時 30 分から 17 時までの時間帯に実施する。ただし、事前の協議により双方が必要と認めたときは、上記以外の日又は時間帯に実施することができる。

6 業務内容

(1) 定期保守点検

別紙 2 に示す項目の定期保守点検を①～⑤は年 2 回（上半期及び下半期）、⑥～⑨及び⑩は年 1 回（上半期）、⑪は年 1 回（下半期）実施する。点検項目については別紙 3 ①～⑪に示す項目を点検する。

(2) フィルター類、活性炭等の消耗品の交換

別紙 4 に示す消耗品の交換を①及び②は年 2 回（上半期及び下半期）、③及び④は年 1 回（上半期）、⑤及び⑥は年 1 回（下半期）実施する。

(3) 定期保守点検の結果は、機器の状態及び点検内容を記載した点検報告書に記録し、速やかに提出すること。

(4) フィルター類及び活性炭等の消耗品の交換結果は別紙 5 に準拠した履歴表に記録し、速やかに提出すること。

(5) 故障時には、委託者の要請に基づき、速やかに職員を派遣して修理調整等を実施し、適正な機能が発揮できるように必要な部品交換を行うこと。なお、その際機器の部品の取り替えに要する費用は委託者が負担する。

(6) 定期保守点検及び故障修理が完了した場合は、令和 7 年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務完了報告書（別紙 6）を提出すること。

(7) 保守管理業務に要する工具、消耗品は保守業者が負担する。ただし、機器の部品の取り替えに要する費用は委託者が負担する。

7 委託期間

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

別紙2

超微量化学物質分析施設空調換気設備保守点検項目表

品名等	点検項目	実施回数
①チラーユニット	別紙3「①チラーユニット点検表」のとおり	2回/年
②冷温水循環ポンプ	別紙3「②冷却水循環ポンプ点検表」のとおり	2回/年
③冷温水タンク	別紙3「③冷温水タンク点検表」のとおり	2回/年
④エアハンドリングユニット	別紙3「④エアハンドリングユニット点検表」のとおり	2回/年
⑤パッケージ型空調機	別紙3「⑤パッケージ型空調機点検表」のとおり	2回/年
⑥ドラフトチャンバー	別紙3「⑥ドラフトチャンバー点検表」のとおり	1回/年 (上半期)
⑦排気処理ユニット	別紙3「⑦排気処理ユニット点検表」のとおり	1回/年 (上半期)
⑧中央実験台、サイド実験台及び流し台	別紙3「⑧-1 風速測定による排気機能点検表」及び 「⑧-2 排気機能及び操作 SW、給排水管等の点検表」のとおり	1回/年 (上半期)
⑨排風機ユニット	別紙3「⑨排風機ユニット点検表」のとおり	1回/年 (上半期)
⑩動力操作盤	別紙3「⑩動力操作盤点検表」のとおり	1回/年 (下半期)
⑪室内温湿度、室圧	別紙3「⑪室内温湿度、室圧点検表」のとおり	1回/年 (上半期)

超微量化学物質分析施設空調換気設備保守点検表

①チラーユニット点検表												
		I										
設置場所	分析棟屋外				点検年月日							
品名	チラーユニット				点検者							
型式	CAH-J1180C											
製番	CWF591EA101											
製造年月	平成14年2月											
項 目					項 目							
送風機	軸受給油又は異常目詰り				運転状態	高圧 (Mpa)						
						低圧 (Mpa)						
サイクル	ガス洩れ 膨張弁廻り					吐出ガス(℃)						
	〃 圧縮機廻り、サービスパルプ					吸込ガス(℃)						
	〃 その他、溶接部、配管部					油温(℃)						
	圧縮機の異常音、異常過熱					液温(℃)						
本体	冷却器及びヒーター詰り点検				運転電流 A	電圧 (V)						
	機器内外部点検、清掃					送風機						
						圧縮機						
電気品	マグネットSW接点点検及び各部端子の増締め				絶縁 MΩ	ポンプ						
	操作SW、サーモスタット作動確認					送風機						
	電源及び操作回路ヒューズほか					圧縮機						
	循環ポンプのインターロック					ポンプ						
付属設備	循環ポンプ・モーターの状態				温度 ℃	冷(温)水入口						
	〃 グランド水洩れの状態					〃 出口						
	クッションタンクの状態					吸い込み空気						
	クッションタンクの清掃					吹き出し空気						
	バルブ類の状態											
	屋外電線管及びBOXの状態				起動及び							
	保温及びラッキングの状態				運転状態							
冷温水の交換												
○ :異常認めず ×:早急に修理要す ⊗:点検時修理調整済み △:次回に修理要す					備考							
要修理箇所						附属設備	品名		型式		製造番号	
							冷温水循環ポンプ		50×40FS4J62.2		P01774290	
							クッションタンク		1×1.5×1		TI-07210	

②冷温水循環ポンプ点検表

点検年月日		作業責任者			
	設置場所(系統)	品名	型式	製造番号	
1	分析棟屋上	渦巻きポンプ	50×40FS4J62.2	P01774290	
2					
点検項目		1	2		備考
ポンプ	ケーシング				
	羽根車				
	主軸				
	軸受磨耗検知器				
	三相電源異常警告				
	防振装置				
	振動				
モーター	運転電圧値 (V)				吐出圧力; MPa 流量計 MH
	運転電流値 (A)				
	絶縁抵抗値 (MΩ)				
	軸受の異音				
	モーター加熱				
	振動				
起動及び運転状況					
要修理箇所	至急 次回				
○：異常認めず ×：早急に修理要す ◎：点検時修理調整済み △：次回に修理要す					

③冷温水タンク点検表

下記の通り点検いたしましたのでご報告申し上げます。

	I	II	点検年月日	
設置場所	分析棟屋上		点検者	
品名	ステンレスパネルタンク		立会い者	
型式	冷温水槽1×1.5×1			
製番	TI-07210			
製造年月	平成14年2月			

	点検内容	結果	備考
1	外観		
2	タンク及び配管接続部の漏れ確認		
3	給水ボールタップの作動状態		
4	ナイブライン濃度確認		
5	接合ボルトの緩み確認		
6	アンカーボルトの緩み確認		
7	外部梯子取付け状態確認		
8	循環パイプの清掃		
9	循環水の交換		

④エアハンドリングユニット 点検表

点検年月日		作業責任者		
設置場所(系統)	品名	型式	製造番号	
1	分析棟屋上(高濃度:AHU-1)	オールフレッシュ空調機	DVU-70F	16416
2	分析棟屋上(低濃度:AHU-2)	オールフレッシュ空調機	DVU-100F2	16417
点検項目	1	2	備考	
送風機	ケーシング		Vベルト交換 B-56×本(低濃度) A-57×本(高濃度)	
	羽根車			
	主軸			
	Vベルト			
	プーリー			
	防振ゴム			
	振動			
熱交換器	冷却・加熱フィン詰り			
	プレフィルターの汚れ			
	中性能フィルターの汚れ			
	活性炭フィルターの汚れ			
	フィルターの圧力損失(Pa)			
	ドレンパン汚れ及び通水確認			
	点検又は、清掃			
モーター	運転電圧値(V)			
	運転電流値(A)			
	絶縁抵抗値(MΩ)			
	軸受の異音			
	モーター加熱			
	振動			
加湿器	ストレーナーの清掃			
	給水調整弁の動作確認			
	エレメントの状態確認			
起動及び運転状況				
要修理箇所	至急	高濃度ファン運転周波数; 23.3Hz		
	次回	低濃度ファン運転周波数; 30.9Hz		
○: 異常認めず ×: 早急に修理要す ◎: 点検時修理調整済み △: 次回に修理要す				

⑤パッケージ型空調機点検表

		I	II	III												
設置場所		第一機器分析室	第二機器分析室	データ解析室	点検年月日											
品名		天埋めPAC	天埋めPAC	天かせPAC	点検者											
型式	室内															
	室外	PUH-P140GA2	PUH-P140GA2	PUH-P40GA												
製番	室内															
	室外	21E00288	21E00497	22D00449												
製造年月	室内															
	室外	平成14年1月	平成14年1月	平成14年1月												
項 目										I	II	III	項 目	I	II	III
送風機	軸受給油又は異常チェック												高圧 (Mpa)			
	送風機軸Vベルトチェック又は交換												低圧 (Mpa)			
運転サイクル	ガス洩れ 膨張弁廻り												運転状態	吐出ガス(℃)		
	〃 圧縮機廻り、サービスパルプ							吸込ガス(℃)								
	〃 その他、溶接部、配管部							油温(℃)	—	—	—					
	圧縮機の異常音、異常過熱							液温(℃)	—	—	—					
本体	エアフィルター汚れ、点検、清掃							運転電流	電圧 (V)							
	ドレンパン汚れ、清掃及び通水確認								送風機	—	—	—				
	冷却器及びヒーター詰り点検								圧縮機							
	機器内外部点検、清掃								室外機・タワー	—	—	—				
電気品	マグネットSW接点点検及び各部端子の増締め							絶縁	送風機							
	操作SW、サーモスタット作動確認								圧縮機							
	電源及び操作回路ヒューズほか								加湿器	—	—	—				
付属								MΩ	制御回路	—	—					
	室外機の点検、清掃								室外機・タワー	—	—	—				
○ : 異常認めず × : 早急に修理要す ⊗ : 点検時修理調整済み △ : 次回に修理要す					温度℃		吸い込み空気									
							吹き出し空気									
					要修理箇所								起動及び運転状態			
					備考											

⑥ドラフトチャンバ一点検表

		I	II	III						
設置場所	低濃度前処理室	高濃度前処理室	標準品調製室	点検年月日						
型式	RFGX180S	RFGX180S	RFX120S	点 検 者						
製番	40700593	40700592	40700591							
製造年月	平成14年 1月	平成14年1月	平成14年1月							
項 目	I	II	III	項 目	I	II	III			
本 体	前面ガラス扉の開閉チェック			排 気 速 度 (m / s e c)	設 定 値 1					
	扉ステンスライヤ-、滑車チェック				測 定 値 1					
	給水遠隔操作ハットルの動作確認				設 定 値 2					
	給水管、排水管の漏れチェック				測 定 値 2					
	操作SW動作チェック				設 定 値 3					
					測 定 値 3					
					設 定 値 4					
					測 定 値 4					
					設 定 値 5					
					測 定 値 5					
○ :異常認めず × :早急に修理要す ⊗点検時修理調整済み △:次回に修理要す										
				起 動 及 び 運 転 状 態						
要 修 理 箇 所				備 考						

⑦排気処理ユニット点検表

	I	II	点検年月日	
設置場所	分析棟屋上	分析棟屋上	点検者	
品名	排気処理ユニット	排気処理ユニット	立会い者	
型式	—	—		
製番	109707	109708		
製造年月	平成14年2月	平成14年2月		
系統	高濃度前処理系	低濃度前処理系		

	点検内容	I	II	備考
1	外観			
2	ダクト接続部エアリーク確認			
3	HEPAフィルター差圧確認			
4	CHフィルター差圧確認			
5	アンカーボルトの緩み確認			

⑧-1 風速測定による排気機能点検表

測定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	(m/sec)
											平均
高濃度前処理室											
ドラフトチャンバー	■	■	■	■	■	■					
中央実験台	■	■	■	■	■	■	■	■			
流し台	■	■	■	■							
サイド実験台	■	■	■	■	■						
吹出し口 1	■	■	■	■	■						
吹出し口 2	■	■	■	■	■						
吹出し口 3	■	■	■	■	■						
吹出し口 4	■	■	■	■	■						
低濃度前処理室											
ドラフトチャンバー	■	■	■	■	■	■					
中央実験台	■	■	■	■	■	■	■	■			
流し台	■	■	■	■							
サイド実験台	■	■	■	■	■						
吹出し口 1	■	■	■	■	■						
吹出し口 2	■	■	■	■	■						
吹出し口 3	■	■	■	■	■						
吹出し口 4	■	■	■	■	■						
標準品調整室											
ドラフトチャンバー	■	■	■	■	■						
サイド実験台	■	■	■								
吹出し口	■	■	■	■	■						
第一分析機器室											
GC/MS排気	■	■									
HEPA吹出し口	■	■	■								
PAC吸込み口	■	■	■	■	■	■					
第二分析機器室											
GC/MS排気	■	■									
HEPA吹出し口	■	■	■								
PAC吸込み口	■	■	■	■	■	■					
データ解析室											
天井排気	■										
吹出し口	■										
試料保管室											
天井排気	■	■									
吹出し口	■	■									
パスルーム											
天井排気	■	■									
吹出し口	■	■									
廃棄物保管庫											
天井排気	■	■									

注: 網掛け枠内は、標準的な測定回数を示す。

⑨排風機ユニット点検表

点検年月日		令和年月日()		作業責任者				
	設置場所(系統)		品名		型式		製造番号	
1	分析棟2階機械室(低濃度;EF-1)		テクセル耐蝕送風機		FTF 302MD-LH		01E0300131	
2	分析棟2階機械室(高濃度;EF-2)		テクセル耐蝕送風機		FTF 302MD-LH		01E0300130	
点検項目		1	2					備考
送風機	ケーシング							
	羽根車							
	主軸							
	軸受							
	プーリー							
	防振ゴム							
	振動							
モーター	運転電圧値(V)							運転周波数 高濃度; Hz 低濃度; Hz
	運転電流値(A)							
	絶縁抵抗値(MΩ)							
	軸受の異音							
	モーター加熱							
	振動							
Hepa フィルター差圧(kPa)								
CH フィルター差圧(kPa)								
起動及び運転状況								
要修理箇所	至急							
	次回							
○:異常認めず		×:早急に修理要す						
◎:点検時修理調整済み		△:次回に修理要す						

⑩動力操作盤点検表

測定者		品名	電圧(V)	有効目盛り (MΩ)
立会人		絶縁抵抗計	500	0~1000

制御盤名	負荷名称	負荷容量 (KW)	MCB他 定格 (A)	絶 縁 抵 抗 (MΩ)			
				R-大地	S-大地	T-大地	備考
動力 制御盤	空冷ヒートポン プ式チラーユニ ット	32.6	225AF /225AT				
	循環 ポンプ	2.2	30AF /20AT				
	空冷ヒートポン プ式パッケージ エアコン	4.24	50AF /40AT				
	電気ヒータ	15.0	100AF /60AT				
	空冷ヒートポン プ式パッケージ エアコン	4.24	50AF /40AT				
	電気ヒータ	15.0	100AF /60AT				
	空冷ヒートポン プ式パッケージ エアコン	1.27	30AF /15AT				
	給気ファン	5.5	50AF /50AT				
	排気ファン	3.7	30AF /30AT				
	電気ヒータ	10.0	50AF /40AT				
	給気ファン	7.5	100AF /60AT				
	排気ファン	5.5	50AF /50AT				
	電気ヒータ	15.0	100AF /60AT				
	その他	点 検 項 目 名			点 検 結 果		
温度センサー							
湿度センサー							
マグネットSW							
ランプ・操作SW・その他計器							

⑪室内温湿度、室圧点検表

測定日		測定者	
-----	--	-----	--

1. 室内温湿度測定結果

室名	設定温度(°C)	室内温度(°C)	設定湿度(%)	室内湿度(%)
高濃度前処理室	25.0		60	
低濃度前処理室	25.0		60	
第一分析機器室	25.0		60	
第二分析機器室	25.0		60	

2. 室圧測定結果

室名	設定圧力(Pa)	室内圧力(Pa)	備考
高濃度前処理室	-40		
低濃度前処理室	-30		
第一分析機器室	-20		
第二分析機器室	-20		
標準品調整室	-50		

注) 高濃度前処理室機器排気状況; 中央実験台(MAX)、サイド実験台、ドラフト運転 …… 流し台停止
 低濃度前処理室機器排気状況; 中央実験台(MAX)、サイド実験台(MIN)、流し台、ドラフト運転
 標準品調整室機器排気状況; ドラフト、サイド実験台運転
 ドラフト吸込み風速; 高濃度…0.4m/sec、低濃度…0.3m/sec、標準品…0.3m/sec

3. パネルシールの点検及び空調換気設備全体の動作チェック

1) パネルシールの点検・補修結果

2) 空調換気設備全体の動作チェック結果

別紙 4

超微量化学物質分析施設空調換気設備年次フィルター等交換内訳

品 名	点検項目（交換頻度）	交換総数
① プレフィルター	高濃度系（AHU-1用） 2組(4枚) (2回/年)	4組 (8枚)
	低濃度系（AHU-2用） 2組(4枚) (2回/年)	
② 中性能フィルター	高濃度系（AHU-1用） 2組(4枚) (2回/年)	4組 (8枚)
	低濃度系（AHU-2用） 2組(4枚) (2回/年)	
③ 活性炭フィルター	高濃度系（AHU-1用） 1組(2枚) (上半期)	2組 (4枚)
	低濃度系（AHU-2用） 1組(2枚) (上半期)	
④ Vベルト	高濃度系 3本 (上半期)	6本
	低濃度系 3本 (上半期)	
⑤ 室内給気用 HEPAフィルター	低濃度前処理室 4枚 (下半期)	5枚
	標準品調整室 1枚 (下半期)	
⑥ 排気処理フィルタ ー	HEPA フィルター 3枚 (下半期)	12枚
	活性炭フィルター 3枚 (下半期)	
	ビニールパックOリング 6枚 (下半期)	

系統	高濃度系統										低濃度系統								
	外気処理フィルター			室内給気用HEPAフィルター			排気処理フィルター				外気処理フィルター			室内給気用HEPAフィルター			排気処理フィルター		
	空調機(AHU-1)			高濃度前処理室	パスルーム	試料保管室		排気処理ユニット(EX-1)				空調機(AHU-2)			低濃度前処理室	標準品調整室	第1分析機器室	第2分析機器室	排気処理ユニット(EX-2)
フィルター	プレフィルター	中性炭素フィルター	活性炭フィルター	HEPAフィルター			HEPAフィルター	活性炭フィルター	ビニル活性炭フィルタ	プレフィルター	中性炭素フィルター	活性炭フィルター	HEPAフィルター				HEPAフィルター	活性炭フィルター	ビニル活性炭フィルタ
型式	ASTC-56H-95	CH-Z(1/2)	ATMC-34-G-A	ATM-4-Q-A	ATM-4-Q-A	ATMC-41-PP-A1-RT	CHW-R	型式:BGT-AT		ASTC-56H-95	CH-Z	ATMC-28-G-A	ATMC-28-G-A	ATMC-Z-Q-A	ATMC-Z-Q-A	ATMC-41-PP-A1-RT	CHW-R	BGT-AT	
使用枚数	2	2	2	4	1	1	2	2	4	2	2	2	4	1	1	1	3	3	6
2006.3月	○	○		●	●	●	●		●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●
2006.9月	○	○	○						●	●	○	○	○						
2007.11月	○	○								○	○								
2007.3月	○	○	○							○	○	○							
2008.3月	○	○								○	○								
2008.9月	○	○	○							○	○	○							
2009.3月	○	○								○	○								
2009.9月	○	○								○	○	○							
2010.3月	○	○		●	●	●	●	●	●	○	○		●	●	●	●	●	●	●
2010.9月	○	○	○							○	○	○							
2011.2月	○	○								○	○								
2011.9月	○	○	○							○	○	○							
2012.3月	○	○								○	○								
2012.9月	○	○	○							○	○	○							
2013.3月	○	○								○	○								
2013.9月	○	○	○							○	○	○							
2014.3月	○	○		●	●	●	●	●	●	○	○		●	●	●	●	●	●	●
2014.9月	○	○	○							○	○	○							
2015.3月	○	○								○	○								
2015.9月	○	○	○							○	○	○							
2016.3月	○	○								○	○								
2016.9月	○	○	○							○	○	○							
2017.3月	○	○								○	○								
2017.9月	○	○	○							○	○	○							
2018.3月	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
2018.9月	○	○	○							○	○	○							
2019.3月	○	○								○	○								
2019.9月	○	○	○							○	○	○							
2020.3月	○	○								○	○								
2020.9月	○	○	○							○	○	○							
2021.3月	○	○								○	○								
2021.9月	○	○	○							○	○	○							
2022.3月	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
2022.9月	○	○	○							○	○	○							
2023.3月	○	○								○	○								
2023.9月	○	○	○							○	○	○							
2024.3月	○	○								○	○								
2024.9月	○	○	○							○	○	○							
2025.3月	△	△								△	△								
2025.9月	△	△	△							△	△	△							
2026.3月	△	△								△	△		△	△			△	△	△

備考 ○:保守点検内交換 △:保守点検内交換予定 ●:保守点検外交換

別紙6

令和7年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務完了報告書

令和 年 月 日

岡山県環境保健センター所長 殿

住所（所在地）

商号又は名称

代表者職氏名

印

1 点検施設

2 点検日時

3 作業責任者

4 設備概要

5 点検項目及び結果

（定期保守点検の場合は、別紙3及び4の内容を含む）

6 総合所見

（担当者）

所属・役職

担当者氏名

電 話

F A X

電子メール

様式 1

参加意思確認書

令和 年 月 日

岡山県環境保健センター所長 殿

住所（所在地）

商号又は名称

代表者職氏名

印

令和 7 年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務への
参加意思について

「令和 7 年度超微量化学物質分析施設空調換気設備保守管理業務」に参加したいので、
下記の資料を添えて応募します。

記

- 1 本業務に要する経費の見積書（積算内訳を添付）
- 2 過去 5 年間における類似施設の保守点検実績を証する書類
- 3 法人概要
- 4 その他必要書類

（担当者）

所属・役職

担当者氏名

電 話

F A X

電子メール

